

衆議院法務委員会ニュース

平成 30.11.26 第 197 回国会第 7 号

11 月 26 日（月）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 1 号）

- ・山下法務大臣、門山法務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・井野俊郎君外 5 名（自民、公明、維新）提出の修正案について、提出者串田誠一君（維新）から趣旨説明を聴取しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

山尾志桜里君（立憲）

- ・「失踪技能実習生の現状」の訂正後も「より高い賃金を求めて」と記載しており、これを見直すべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・法務省内に設置された技能実習制度の運用状況を検証するプロジェクトチームでは、平成 30 年の技能実習生の失踪原因を調査するか、法務省に伺いたい。
- ・ティッシュ配りは外国人労働者の受入れの対象とならない単純労働であるとの説明は維持するのか、法務大臣の見解を伺いたい。

階猛君（国民）

- ・本法案では、外国人労働者が条件面で恵まれている都市部に集中し、地方の人手不足は解消しないのではないかとの問題意識から、移動の自由が認められる中、どのようにして地方の人材不足の解消を図っていくのか、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・受け入れる特定技能 1 号外国人の日本語能力について、特に建設業では日本語能力が不十分だと重大事故にもなりかねないと考えるが、本法案において、求められる日本語能力の水準をどのように定めるのか、法務大臣に伺いたい。
- ・特定技能外国人の受入れでは、仲介業者等の介在が制限されていないと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

黒岩宇洋君（無会）

- ・実習実施者等から失踪した技能実習生に係る聴取票の失踪動機についてのチェック欄と実習実施者等についての記入欄の関係について、法務大臣政務官の考えを伺いたい。

藤野保史君（共産）

- ・本日の予算委員会で提示したパネルは法務省から提出された「新たな在留資格による人材不足・受入れの見込み数」に基づいて作成したものであったにもかかわらず、パネルのデータは法務省が提出したデータ自体ではないと答弁した趣旨について法務大臣に確認したい。

串田誠一君（維新）

- ・聴取票は失踪技能実習生の一方的な主張を聴取、記入したものであることを踏まえ、「失踪技能実習生の現状」に記載された失踪原因についての表現を見直すべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・外国人労働者の労働問題に法務省は厚生労働省と連携して対応しなければならないと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。